

神輿

神輿とは、神様を一時的にお祀りするためのもので、神様を運ぶために使われる。日吉大社は、791 年に桓武天皇から 2 台の輿が贈られたことをきっかけに、神輿が使用された最初の場所とされる。それ以前は、神様の移動は神木の枝に乗せていた。

日吉大社には 7 つの社殿にそれぞれ神輿がある。動物や紋章、鏡や鈴が飾られている。龍、鳳凰、獅子、猿は神の使いとされ、神のしもべとされている。

現在使われている神輿は、1500 年代後半に作られたものを複製したものである。古い神輿は重要文化財に指定され、八王子山頂への登山道近くにある収蔵庫に保管されている。11 月には一般公開される。

現代の神輿は、大きさは同じだが、重量がかなり軽い。重さは 1,500 キログラムから約 800 キログラムになった。1 基の神輿を担ぐのに約 30 人。毎年春に行われる山王祭では、神社の近くに住む町民がそれぞれのチームを組んで、神輿を担ぐ。